

見えない努力で守る命 ～感染ゼロを目指す滅菌の現場～

材料部

滅菌材料部は何をしているところ？

滅菌材料部は、手術などで使う器材の洗浄・消毒・滅菌をしています。器材に汚れや細菌が残っていれば、どんなに優れた医師でも感染を防ぐことはできません。

使用済み器材の処理をご紹介します

洗浄 消毒

- ①主に自動洗浄装置で洗います。
細かい部品はばらして、
丁寧に洗います。
拭き取り検査をして
きれいに洗浄できているか
確認をしています。

点検

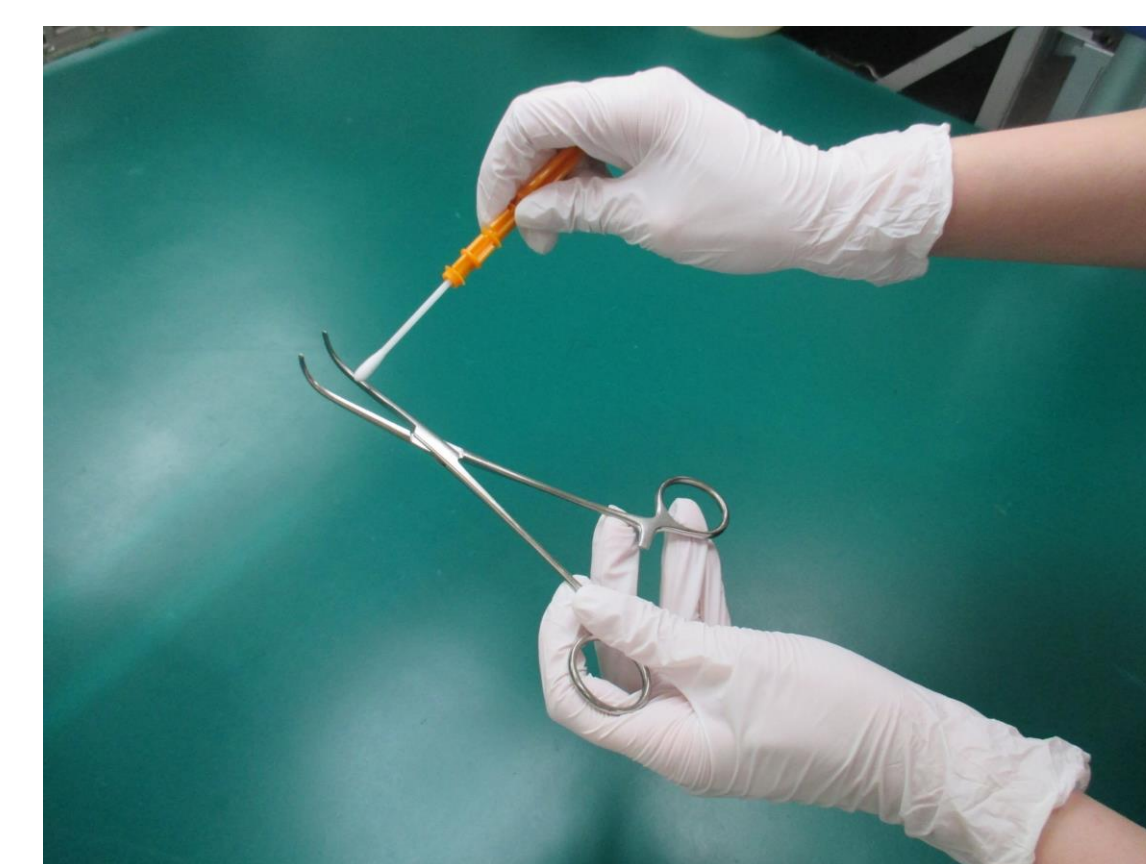
- ②器材のかみ合わせはずれていないか、ハサミの切れ味は良いかを点検します。器材は小さいので拡大鏡を使って確認します。

滅菌

- ③滅菌器に入れてスタートすればきちんと完了していると思われがちですが、実際には多くのエラーが起こりえます。無菌であることを目で見て確認できないので、3種類のインジケータを用いて「滅菌保証」をしています。



自動洗浄装置で洗浄と
熱水消毒をします



汚れが残っていないか
拭き取り検査をします

拡大鏡で確認！

オレンジ色の専用
シートを使って
ハサミの切れ味も
チェックします



1, 物理的インジケータ

滅菌器が正常に作動したかを確認



滅菌器の記録紙を確認

2, 化学的インジケータ（器材と一緒にパック内に入れます）

包装内部まで蒸気・熱が到達したか色で確認



滅菌前は紫色



滅菌後は水色に変わります



水色になっていることを確認

3, 生物学的インジケータ

芽胞菌（死滅しにくい菌）が死滅したかを確認



芽胞菌が入っているインジケータ
を器材と一緒に滅菌します



《培養の様子》
滅菌後培養し芽胞菌の死滅を確認します。

全国評価でS評価（優良）を取得しました

全国国立大学病院では病院間で滅菌材料部の相互チェックを行っています。東京大学医学部附属病院と東京科学大学病院に評価していただき、S評価（優良）を認定されました。

この評価ツールをもとにチェックされます。
手術などで使用する器材の洗浄・消毒・滅菌は
あまり知られていない現状があります。
どのような点に注意して行われているか
ご興味のある方は、閲覧してみてください。



日本医療機器学会発行



高い質を維持するために、
定期的に講師を招いて勉強
会を開催し、専門的な知識
を高めています。

